

平成26年10月22日(水)
都市経営戦略会議
保健福祉局 市立病院経営部
庶務課病院施設整備室

さいたま市立病院 施設整備事業

平成26年10月22日

市立病院の建替えにおける現状・課題

●事業費の見直し

昨今の建設費の高騰や消費税の増税の影響により、基本計画時の事業費から大幅な増額が必要となる見通しのため、事業費の見直しが必要となっている。

●施設整備スケジュールの遅れ

先行して事業着手しているE S C O・防災エネルギーセンター事業の工事が平成26年2月に入札不調となり、工事費の増額を要したことから、工事完了に遅れが生じたため、関連する高等看護学院の開校時期及び新病院の開院に遅れが生じている状況である。

事業費の変動

「さいたま市立病院施設整備基本計画」で試算した事業費（213億円）を、昨今の労務費及び資材単価の高騰等や消費税増税の影響を踏まえ、現時点での試算をしたところ、次のとおり、事業費が105億円増加する見込みである。

基本計画時

建築事業費総額	181億円
新築工事	166億円
解体工事	5億円
外構工事	5億円
設計費（基本・実施・監理）	5億円
医療機器等整備費	32億円
事業費総額	213億円



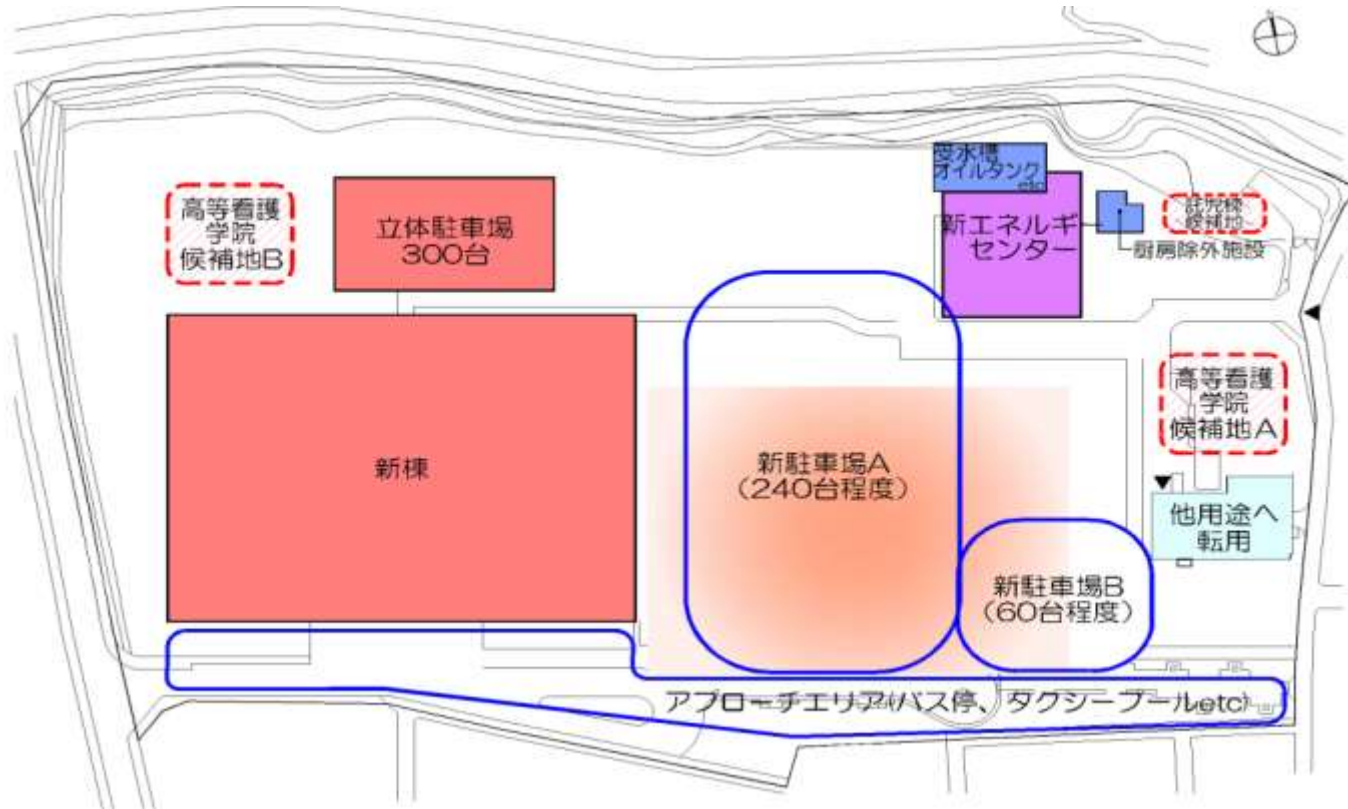
現時点の試算（平成26年8月） 【基本設計委託業者見積もり】

建築事業費総額	285億円（+104億円）
新築工事	261億円（+95億円）
解体工事	9億円（+4億円）
外構工事	9億円（+4億円）
設計費（基本・実施・監理）	6億円（+1億円）
医療機器等整備費	33億円（+1億円）
事業費総額	318億円 （+105億円）

配置計画(基本計画時)

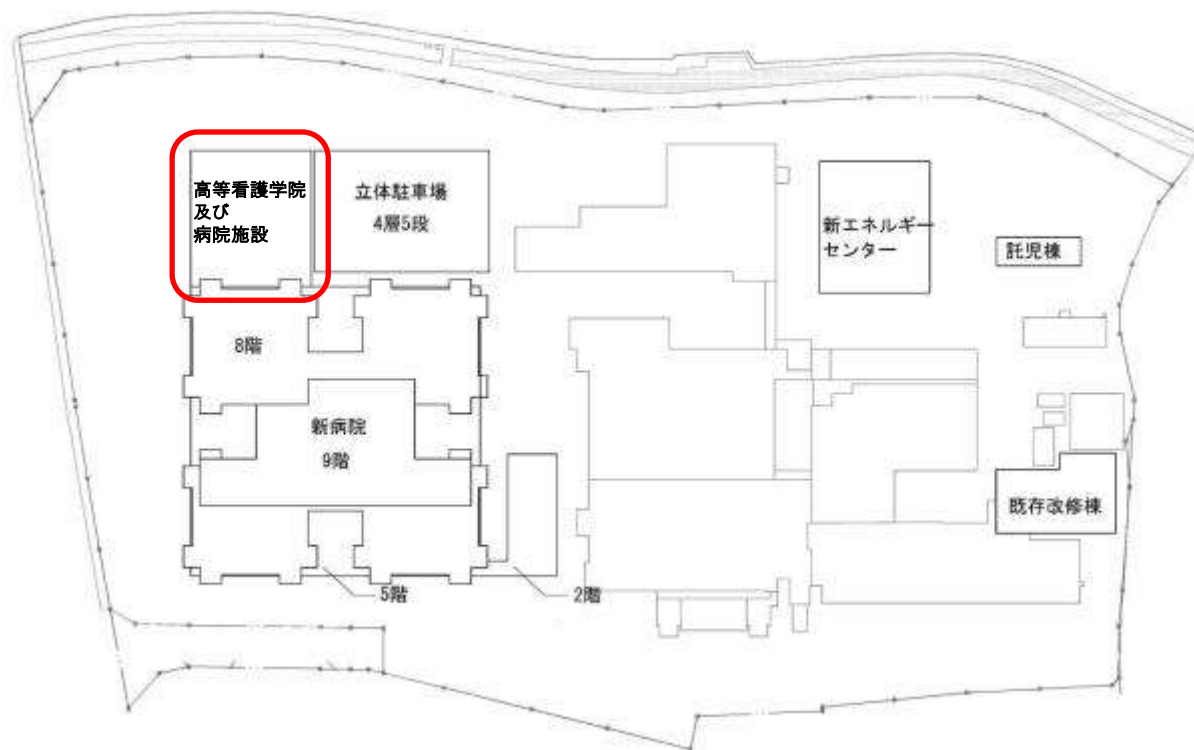
基本計画では、平成26年度から設計、施工と進めていき、平成31年度中に開院する計画としていた。

また、この施設整備計画において、移転となる高等看護学院については、平成29年度に開校する計画となっていた。(候補地Aで計画)



配置計画(現状を踏まえた案)

医療機能の充実及び強化を図るとともに、市内において必要な政策医療を整備し、1日でも早い新病院開院を目指すため、コスト面及び工期短縮のメリットが見込まれる「市立病院と高等看護学院の複合化」による一体整備を進めていきたい。



※施設の形状、階数等は、設計過程で変更の可能性があります。

事業スケジュール比較

「市立病院と高等看護学院の複合化による一体整備」では、次のとおり、工期短縮を図ることができ、新病院の開院時期が、基本計画時での平成31年度から、平成29年度末の開院を目指す。

区分 \ 年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
市立病院 施設整備計画	基本計画	設計		附属設備施工	見直し後	新棟施工	開院
		設計		附属設備・新棟施工		開院	
高等看護学院 施設整備計画	基本計画	設計		施工	見直し後	開校	
		設計		施工		開校	

市立病院施設整備計画と収支見通し

(1) 全体事業費

●市立病院施設整備事業

(単位:百万円)

パターン別	①基本計画	②見直し後 精神病床は第7次以降の保健医療計画で整備予定		
		567床(637床)	うち第6次中 567床(607床)	うち第7次以降 (精神30床)
病床数	637床	567床(637床)	うち第6次中 567床(607床)	うち第7次以降 (精神30床)
事業費	21,230	32,091	31,013	1,078
企業債	17,696	23,380	23,380	0
内部留保資金	3,534	5,011	3,933	1,078
一般会計補助金	0	3,700	3,700	0
一般会計負担合計	8,848	15,390	15,390	0
病院会計負担合計	12,382	16,701	15,623	1,078

※病床数に記載している()内の数字は、埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画で増床が認められた場合の病床数です。

- ア 建築単価 ①は1㎡当たり単価30万円(税抜)、②以降は44.1万円(税抜)で算出しています。
- イ 消費税 ①は消費税5%、②以降は10%で算出しています。
- ウ 一般会計補助金 ②は、事業費の増に対応するため、建設工事期間中の一般会計負担として約37億円を見込んでいます。
- エ 繰入基準の一部見直し ②は、高度医療に要する経費、基礎年金拠出金負担などの繰入基準の一部を見直しています。
- オ 各会計負担合計 一般会計負担合計は企業債の1/2と一般会計補助金の合計、病院会計負担は企業債の1/2と内部留保資金の合計です。
- カ その他 市立病院は収益増・費用減等により収支改善を行うとともに、内部留保資金を限界まで拠出します。

●高等看護学院施設整備事業

	基本計画	見直し後
事業費	933	1,205

●高等看護学院整備を含めた総事業費(②+高等看護学院施設整備事業費)

	基本計画	見直し後	
		うち第6次中	うち第7次以降
事業費	22,163	33,296	1,078

市立病院施設整備計画と収支見直し

(2) 見直しの内容

【1】病床数

埼玉県第6次保健医療計画(平成25年度～平成29年度)における増床公募の状況が未定であるため、精神病床を除いた病床数で先行整備し、第7次保健医療計画の動向を見据えた上で、精神病床の増床を目指します。

埼玉県の保健医療計画
に柔軟に対応できる
施設整備の推進

【2】事業費の増に対する財源の確保

建築単価の高騰等による事業費の増に対応するため、起債額を増加するとともに、建設期間中に一般会計補助金を充当します。また、市立病院においても収支改善を行い、内部留保資金を限界まで拠出するものとします。

- 起債額
約56.8億円の増
- 一般会計補助金
約37億円の負担
- 内部留保資金
約14.8億円の増

【3】繰入基準の見直しと累積欠損金の解消

高度医療に要する経費、基礎年金拠出金に係る公的負担などの繰入基準の一部を見直すことで、建設工事期間中の一般会計負担の低減を図るとともに、市立病院の経営基盤を強化し、累積欠損金の解消を目指します。

平成59年度までに
累積欠損金解消

